

関西経済レポート

中国・アジア向けの輸出増加に牽引されて、生産は持ち直しの動きが続いているものの絶対水準は依然として低い。消費は、全体として低調だが、耐久消費財向けの経済対策の効果や景気の持ち直しなどにより、一部に上向きの動きがみられる。住宅投資も、政策効果により持ち直しの動きがみられる。雇用環境は、持ち直しの動きはあるものの、厳しい状況が続く。

今後のリスク要因としては、欧州の信用不安に対する注視が必要。

2010年7月15日

関経連経済調査部

～目次～

政府・日銀の景況判断	1
日銀短観	2
生産、大口電力需要	4
輸出入	6
個人消費	10
住宅投資	13
株価為替の動き	15
倒産	16
雇用	17

～政府・日銀の景気判断～

	近畿	近畿地区金融経済概況 日銀大阪支店	中部	金融経済月報 日銀名古屋支店	全国	金融経済月報 日銀	全国	月例経済報告 内閣府
2009年5月	⇒	大幅に悪化しており、厳しい状況にある。	↗	引き続き下降しているが、その度合いは緩やかになっている。	↗	わが国の景気は悪化を続けているが、輸出や生産は下げ止まりつつある	↗	景気は、厳しい状況にあるものの、このところ悪化のテンポが緩やかになっている。
2009年6月	↗	厳しい状況にあるが、悪化のテンポは和らいできている。	↗	輸出と生産の持ち直し等から、下げ止まりつつある。	↗	大幅に悪化したあと、下げ止まりつつある。	↗	厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きが見られる。
2009年7月	↗	なお厳しい状況にあるが、下げ止まりつつある。	↗	輸出と生産の持ち直し等から、下げ止まっている。	↗	わが国の景気は下げ止まっている。	↗	厳しい状況にあるものの、このところ持ち直しの動きがみられる。
2009年8月	⇒	なお厳しい状況にあるが、下げ止まりつつある。	⇒	輸出と生産の持ち直し等から、下げ止まっている。	⇒	わが国の景気は下げ止まっている。	⇒	厳しい状況にあるものの、このところ持ち直しの動きがみられる。
2009年9月	↗	なお厳しい状況にあるが、下げ止まっている。	↗	東海3県の景気は、持ち直しつつある。	↗	わが国の景気は持ち直しに転じつつある。	⇒	失業率が過去最高水準となるなど厳しい状況にあるものの、このところ持ち直しの動きがみられる。
2009年10月	↗	近畿地域の景気は、雇用面などに厳しさを残しつつも、持ち直しの動きがみられる。	⇒	東海3県の景気は、持ち直しつつある。	↗	わが国の景気は持ち直しつつある。	↗	景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。
2009年11月	⇒	近畿地域の景気は、雇用面などに厳しさを残しつつも、持ち直しの動きがみられる。	⇒	東海3県の景気は、持ち直しつつある。	↗	わが国の景気は、国内民間需要の自律的回復力はなお弱いものの、内外における各種対策の効果などから持ち直している。	⇒	景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。
2009年12月	↗	近畿地域の景気は、雇用面などに引き続き厳しさを残しつつも、緩やかに持ち直している。	↗	東海3県の景気は、業種間・企業間の格差が大きいものの、全体としては持ち直している。	⇒	わが国の景気は、国内民間需要の自律的回復力はなお弱いものの、内外における各種対策の効果などから持ち直している。	⇒	景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。
2010年1月	⇒	近畿地域の景気は、雇用面などに引き続き厳しさを残しつつも、緩やかに持ち直している。	⇒	東海3県の景気は、業種間・企業間の格差が大きいものの、全体としては持ち直している。	⇒	わが国の景気は、国内民間需要の自律的回復力はなお弱いものの、内外における各種対策の効果などから持ち直している。	⇒	景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。
2010年2月	↗	近畿地域の景気は、雇用面などに引き続き厳しさを残しつつも、持ち直している。	⇒	東海3県の景気は、業種間・企業間の格差が大きいものの、全体としては持ち直している。	⇒	わが国の景気は、国内民間需要の自律的回復力はなお弱いものの、内外における各種対策の効果などから持ち直している。	⇒	景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。
2010年3月	⇒	近畿地域の景気は、雇用面などに引き続き厳しさを残しつつも、持ち直している。	⇒	東海3県の景気は、業種間・企業間の格差が大きいものの、全体としては持ち直している。	⇒	わが国の景気は、国内民間需要の自律的回復力はなお弱いものの、内外における各種対策の効果などから持ち直している。	↗	景気は、着実に持ち直してきているが、なお自律性は弱く、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。
2010年4月	↗	近畿地域の景気は、雇用面などに厳しさを残しつつも、着実に持ち直している。	↗	東海3県の景気は、持ち直しを続けており、業種間・企業間の格差も徐々に縮小している。	↗	わが国の景気は、国内民間需要の自律的回復力はなお弱いものの、海外経済の改善や各種対策の効果などから、持ち直しを続けている。	⇒	景気は、着実に持ち直してきているが、なお自律性は弱く、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。
2010年5月	⇒	近畿地域の景気は、雇用面などに厳しさを残しつつも、着実に持ち直している。	⇒	東海3県の景気は、持ち直しを続けており、業種間・企業間の格差も徐々に縮小している。	↗	わが国の景気は、海外経済の改善を起点として、緩やかに回復しつつある。	⇒	景気は、着実に持ち直してきているが、なお自律性は弱く、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。
2010年6月	⇒	近畿地域の景気は、雇用面などに厳しさを残しつつも、着実に持ち直している。	↘	東海3県の景気は、生産の増勢が足もと一服しているが、全体としては持ち直しを続けている。	⇒	わが国の景気は、海外経済の改善を起点として、緩やかに回復しつつある。	↗	景気は、着実に持ち直してきており、自律的回復への基盤が整いつつあるが、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。

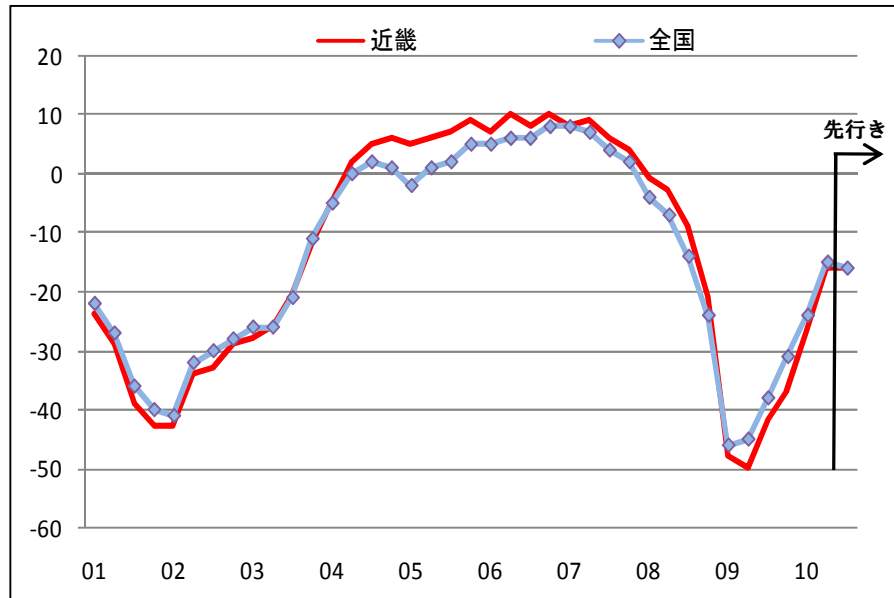
○日銀大阪支店は6月の景況判断を

「近畿地域の景気は、雇用面などに厳しさを残しつつも、着実に持ち直している。」とした。(5月から継続)

「すなわち、輸出は、アジア向けを中心に増加している。生産は、輸出の増加や省エネ家電への政策支援を背景に、増加している。一方、内需についてみると、設備投資は、企業収益の改善が続く中、下げ止まりに向けた動きがみられている。個人消費は、耐久消費財が政策効果により持ち直している一方、雇用者所得が低調な地合いを続ける中、その他の分野では弱い動きが続いている。この間、公共投資は増勢が鈍化している。」とした。

～日銀短観～

業況判断DI（「良い」－「悪い」、2010年6月結果まで）



○近畿の業況判断DI（2010年6月結果まで）

- ・近畿の業況判断DIの6月結果は全産業▲16と、3月調査(▲27)から+11ポイント、4四半期連続の改善。
3月調査時予測（▲26）を上回った。
- ・近畿の先行き見通しは▲16と、足下から横ばい。
- ・全国は、全産業▲15と、3月調査(▲24)から+9ポイント、5四半期連続の改善。
近畿と同様、3月調査時予測（▲26）を上回った。
- ・全国の先行きは▲16と、足下からほぼ横ばい。

規模・業種別内訳（2010年3月結果まで）

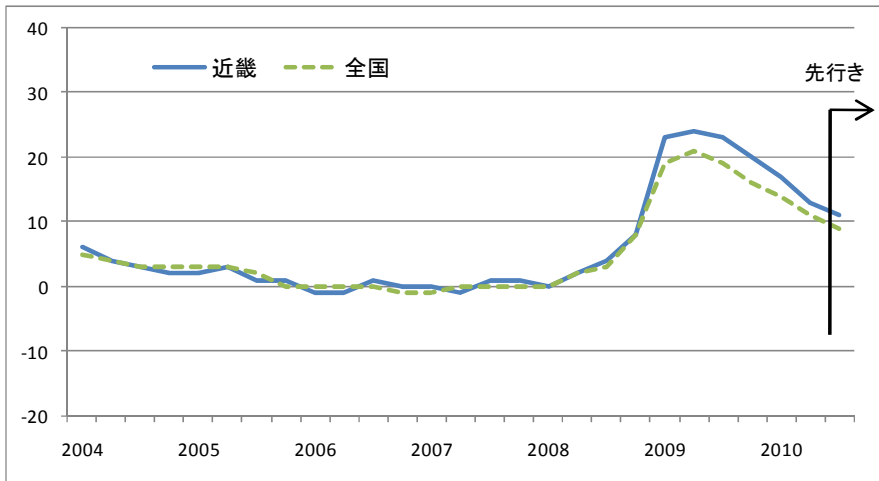
近畿			
	2010年 3月	6月 ()内は前回 調査時予測	先行き 9月
全産業	▲27	▲16 (▲26)	▲16
大企業	▲15	▲6 (▲11)	0
中小企業	▲37	▲27 (▲38)	▲27
製造業	▲25	▲10 (▲23)	▲11
大企業	▲12	1 (▲10)	2
中小企業	▲37	▲24 (▲34)	▲22
非製造業	▲28	▲21 (▲29)	▲21
大企業	▲19	▲16 (▲12)	▲5
中小企業	▲36	▲29 (▲40)	▲30
全国			
	2010年 3月	6月 ()内は前回 調査時予測	先行き 9月
全産業	▲24	▲15 (▲26)	▲16
大企業	▲14	▲2 (▲9)	0
中小企業	▲31	▲23 (▲35)	▲25
製造業	▲23	▲10 (▲22)	▲10
大企業	▲14	1 (▲8)	3
中小企業	▲30	▲18 (▲32)	▲19
非製造業	▲25	▲19 (▲28)	▲20
大企業	▲14	▲5 (▲10)	▲4
中小企業	▲31	▲26 (▲37)	▲29

○近畿の規模別・業種別業況判断DI（2010年6月結果まで）

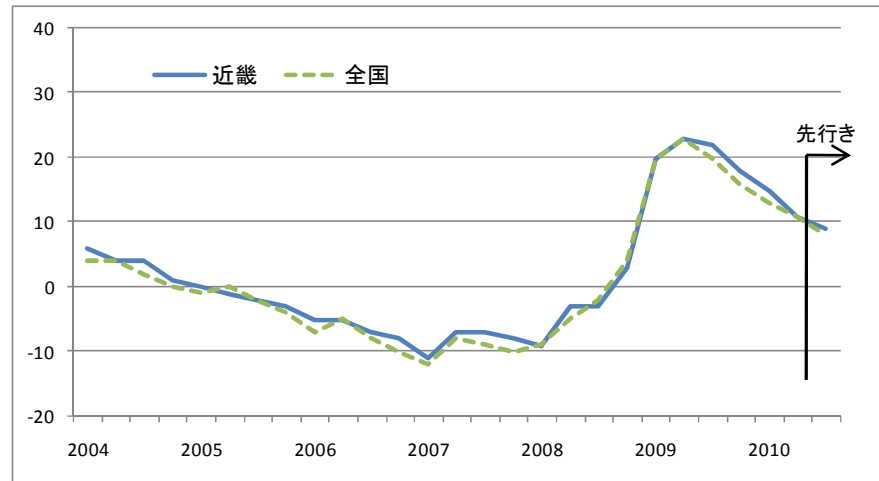
- ・足下、3月調査時から、製造業が+15ポイント、非製造業が+7ポイントの改善。
大企業非製造業以外は、3月調査時予測を上回った。
- ・規模別では、中小企業は大企業に比べ足下・先行きとも厳しい見方が続く。

～日銀短観～

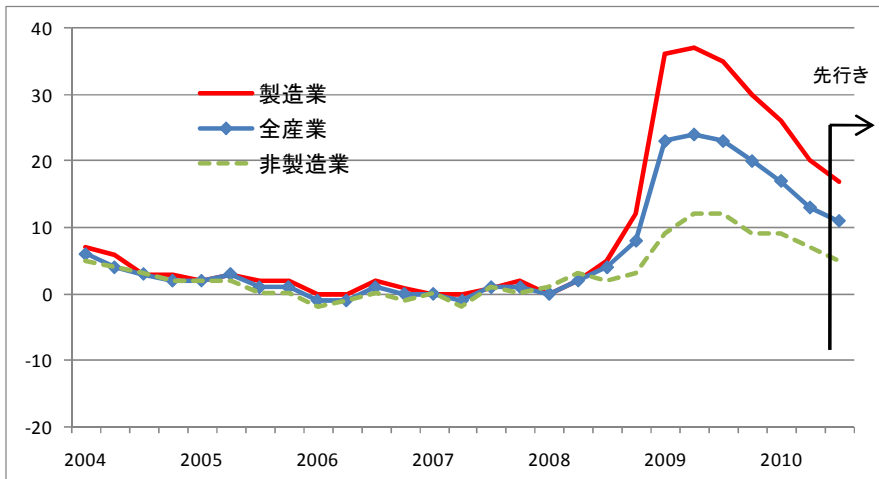
生産・営業用設備判断DI（「過剰」－「不足」）



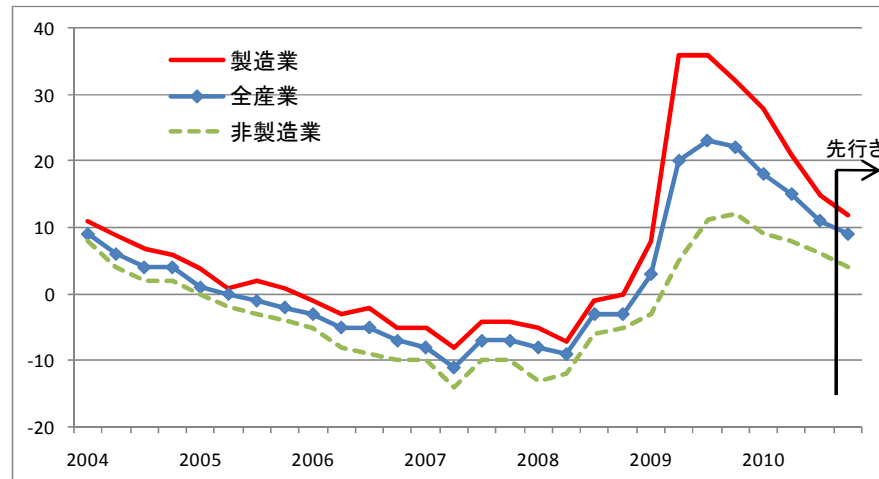
雇用人員判断DI（「過剰」－「不足」）



生産・営業用設備判断DI 近畿・業種別



雇用人員判断DI 近畿・業種別

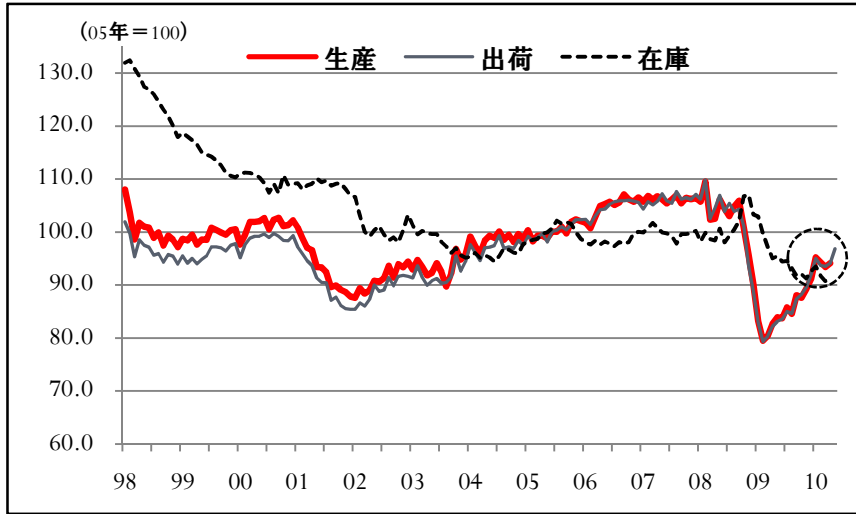


○2010年6月の日銀短観によると、近畿の足下の設備判断DIは、全産業13、製造業20、非製造業7と、すべて前回調査時から改善。引き続き製造業で過剰感が高い。
先行きは、緩やかながら改善の見込み。
 ○全国も同様の傾向。

○2010年6月の日銀短観によると、近畿の足下の雇用人員判断DIは、全産業11、製造業15、非製造業6と、すべて前回調査時から改善。設備同様、製造業で過剰感が高い。
先行きは、緩やかながら改善の見込み。
 ○全国も同様の傾向。

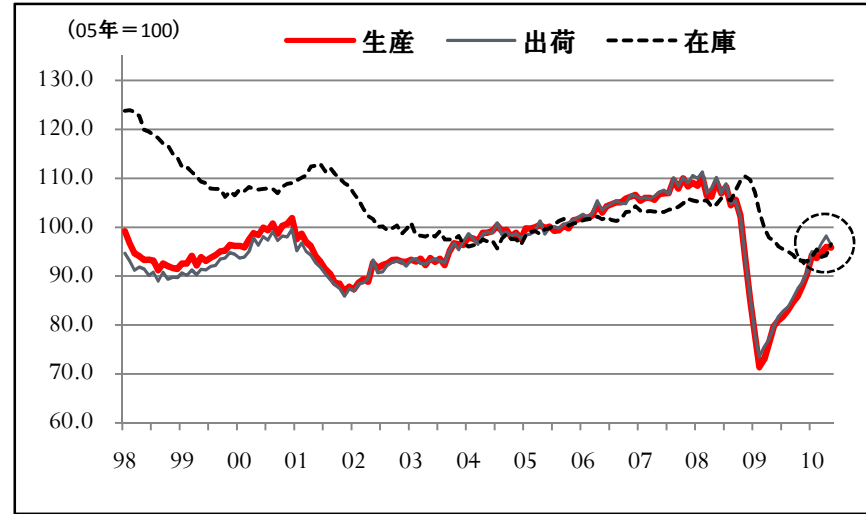
～生産～

鉱工業指数の推移（近畿 2010年5月速報まで）



(出所) 近畿経済産業局

鉱工業指数の推移（全国 2010年5月速報まで）



(出所) 経済産業省

業種別鉱工業 生産指数 (前月比、%)

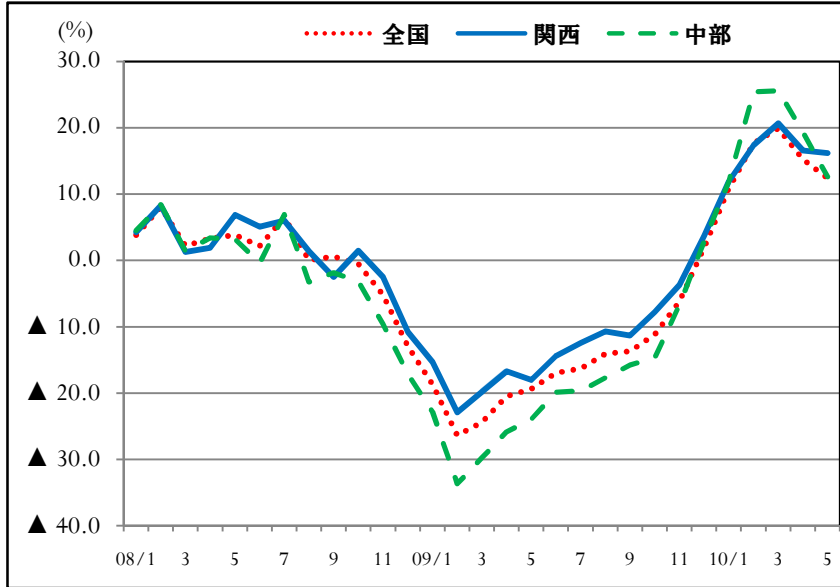
*網掛は、生産が
前月比プラスの業種

	全体	鉄鋼	金属製品	一般機械	電気機械	情報通信 機械	電子部品 デバイス	輸送機械	化学	食料品 たばこ
近畿2月	▲2.0	2.1	9.8	▲1.0	▲2.8	▲0.3	▲5.9	▲2.6	2.6	▲2.3
近畿3月	▲1.0	1.1	▲18.7	▲3.5	6.7	▲14.4	5.1	▲6.1	1.6	6.8
近畿4月	0.7	▲1.1	11.6	9.0	▲7.3	▲2.6	▲3.2	0.1	▲6.1	0.5
近畿5月	2.8	3.2	8.5	▲9.6	10.9	11.5	5.8	3.0	7.8	1.6
全国5月	▲0.1	▲0.1	1.2	0.2	1.5	5.5	0.3	▲2.7	—	—

- ・ 近畿の5月（速報）の鉱工業生産指数は、96.7。前月比+2.8%と2カ月連続の上昇。
出荷は前月比+2.9%の96.8と、2カ月連続の上昇。在庫は、前月比+1.1%の91.7と3カ月ぶりの上昇。
 生産上昇に寄与したのは、化学工業(除、医薬品)、電気機械工業、金属製品工業など。品目別にみると、橋りょう、薄型テレビ、コンベヤ、の順に上昇に寄与。低下したのは、一般機械工業、非鉄金属工業、パルプ・紙・紙加工品工業等。
- ・ 全国の5月（速報）の鉱工業生産指数は、95.9。前月比▲0.1%と3カ月ぶりの低下。
出荷は、前月比▲1.7%の96.4と3カ月ぶりの低下。在庫は、前月比+2.0%の96.5。
 業種別では、輸送機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業、石油・石炭製品工業等が低下。上昇したのは、情報通信機械工業、電気機械工業、化学工業(除 医薬品)等。品目別では、普通乗用車、鋼船、印刷用紙等が低下に寄与。
 製造工業生産予測調査によると、6月・7月とも上昇を予測。

～生産～

産業用大口電力需要（対前年伸び率・2010年5月まで）



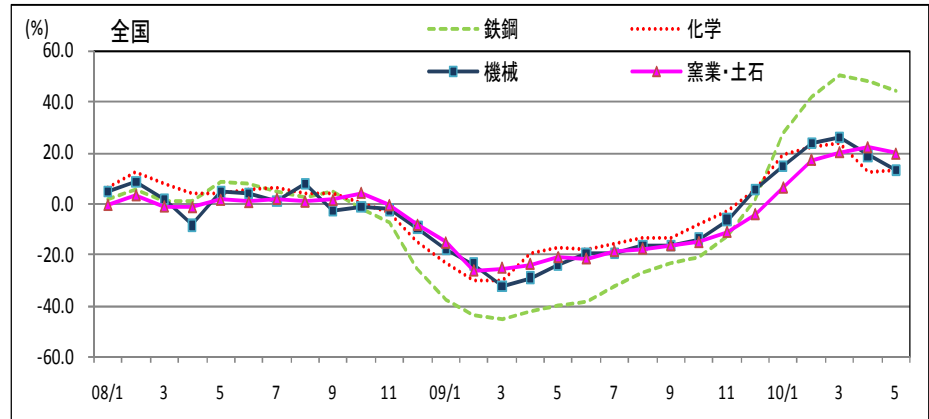
(出所) 電気事業連合会

・5月の関西の大口電力実績は、前年同月比+16.2%と、6カ月連続で前年実績を上回った。

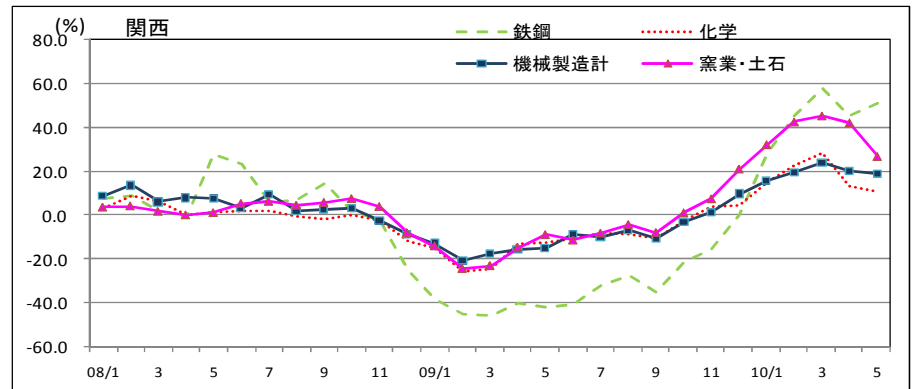
全国は+12.4%で、6カ月連続で前年実績を上回った。

・業種別(関西)では、製造業10業種中9業種が対前年比プラス。

大口電力産業別実績（対前年伸び率 2010年5月まで）



(出所) 電気事業連合会



(出所) 関西電力

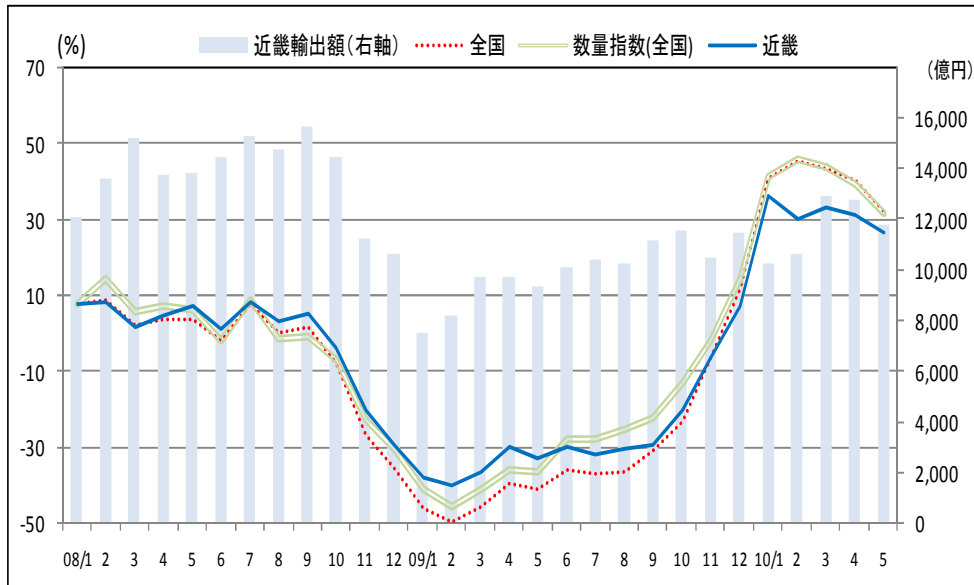
大口電力産業別実績（対前年伸び率 2010年5月まで・関西）

	食料品	繊維	パルプ・紙	化学	石油・石炭	ゴム製品	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	機械製造計
10年1月	▲ 2.1	▲ 6.3	4.8	14.7	18.4	7.3	32.1	28.5	5.3	15.8
2月	▲ 2.6	1.3	7.0	22.7	8.3	18.7	42.4	45.4	17.2	19.8
3月	0.3	▲ 9.2	10.0	28.2	25.8	25.5	45.1	57.9	19.8	24.2
4月	▲ 2.8	14.1	8.5	13.2	9.6	21.1	42.0	45.2	15.2	20.5
5月	▲ 2.1	18.7	5.8	10.3	16.8	19.1	26.7	50.9	4.6	19.1

* 網掛は、伸び率が前年比プラスの業種

～輸出～

輸出金額・前年同月比増減率推移（2010年5月速報まで）

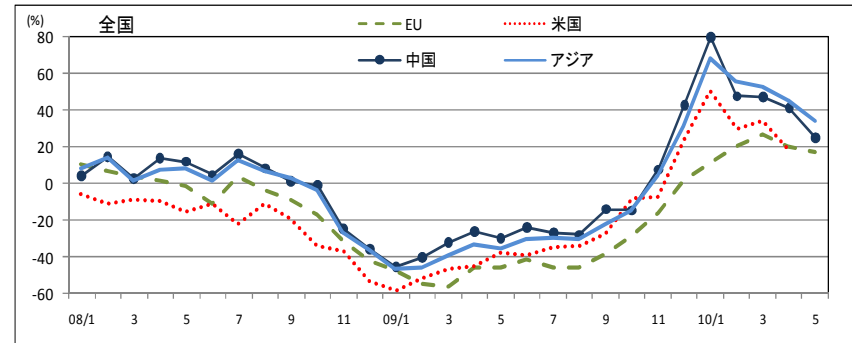
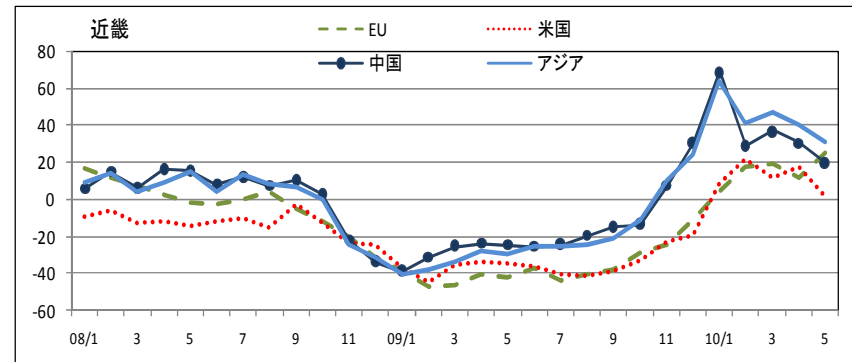


出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿) 資料

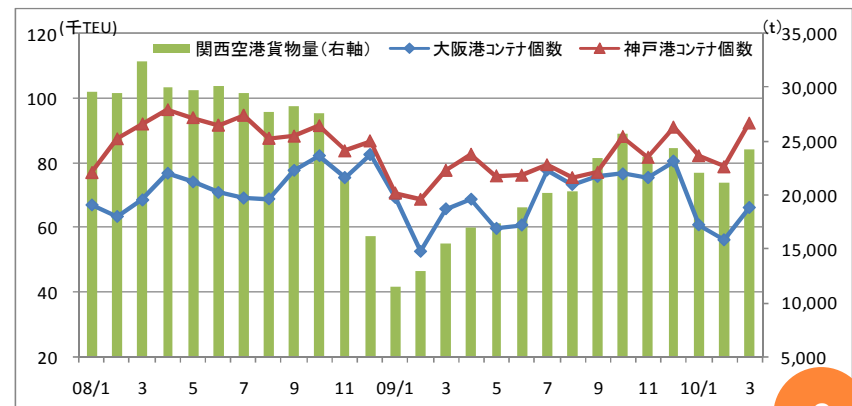
○近畿の月次の輸出動向（2010年5月速報まで）

- ・ 5月の近畿の輸出額は1兆1859億円、前年同月比+26.7%と6カ月連続の前年比プラス。全国も6カ月連続プラスの+32.1%。
- ・ 地域別では、アジアが前年同月比+30.4%、うち中国が同+19.5%と、ともに7カ月連続で大幅なプラスとなっている。EUは同+24.8%、米国は同+1.1%と、ともに5カ月連続のプラス。
- ・ 品目別では、半導体等電子部品、鉄鋼、科学光学機器、建設用・鉱山用機械、等が増加に寄与。台湾向け集積回路、中国向けの鉄鋼ワットロール製品、液晶パネル、等で増加。
- ・ 数量を表す貿易指数(全国5月)は前年比+31.9%と、6カ月連続プラス。
- ・ 関空の貨物量は09年1月を底に、大阪港・神戸港の貨物量は09年2月を底に、回復傾向。

地域別輸出金額・前年同月比推移



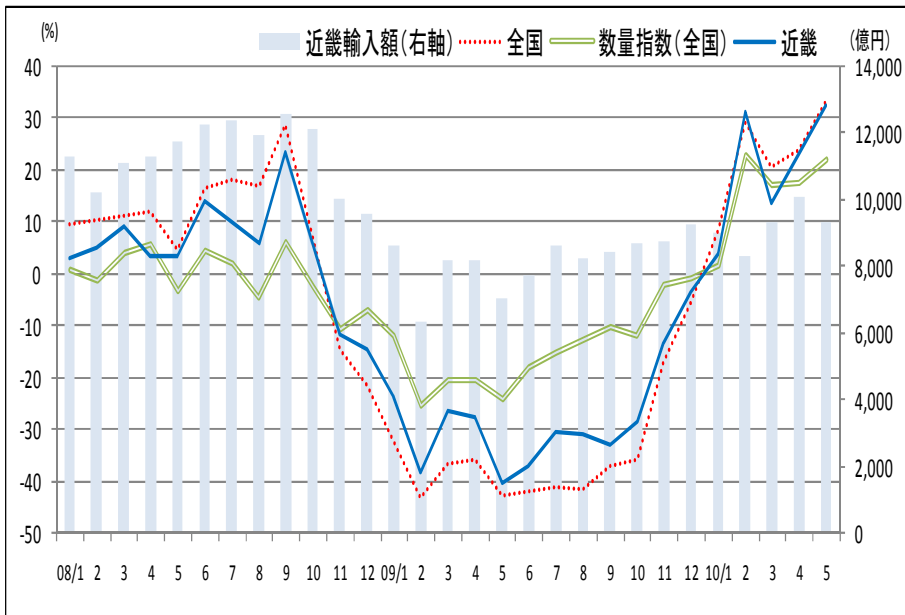
近畿・港別貨物取扱量（輸出）



出所：大阪市、神戸市、関西国際空港㈱ 資料

～輸入～

輸入金額・前年同月比増減率推移（2010年5月速報まで）

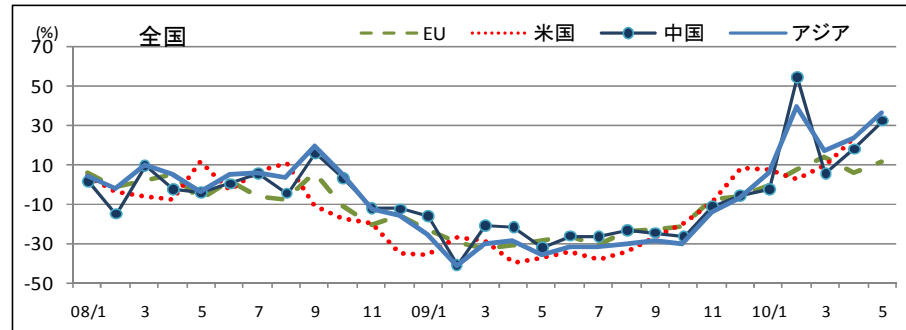
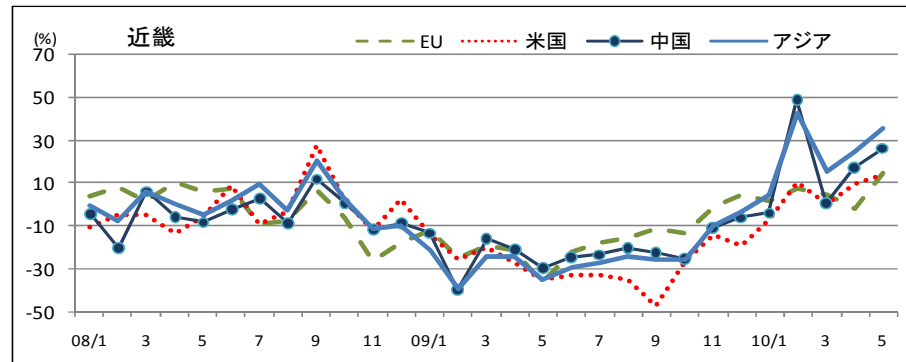


出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿) 資料

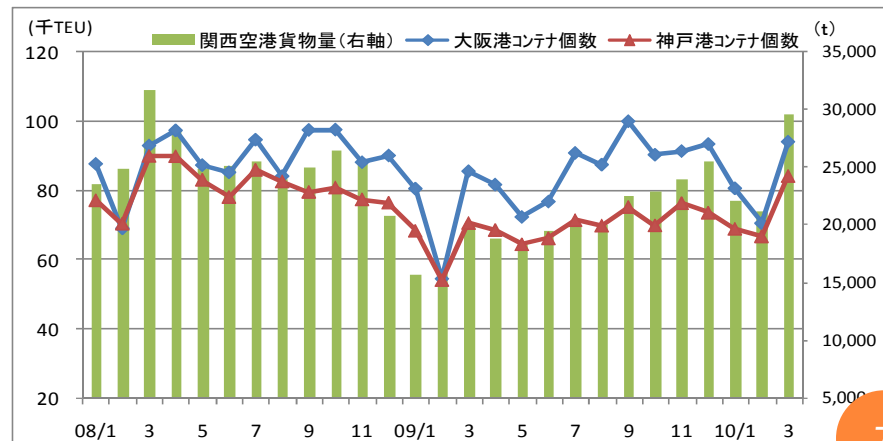
○近畿の月次の輸入動向（2010年5月速報まで）

- ・5月の近畿の輸入額は9385億円、前年同月比+32.7%と、5カ月連続のプラス。
- ・地域別では、アジアが前年同月比+35.5%と5カ月連続のプラス。アジアのうち中国が同+26.3%、米国が同+13.9%と、ともに4カ月連続のプラス。EUが同+14.4%と2カ月ぶりのプラス。
- ・品目別では、天然ガス及び製造ガス、原油及び粗油、音響・映像機器(含部品)、非鉄金属等が増加に寄与。
- ・数量を表す貿易指数(全国5月)は、前年同月比+22.2%と、4カ月連続のプラス。
- ・関空の貨物量は09年1月を底に、大阪港・神戸港の貨物量は09年2月を底に、回復傾向。

地域別輸入金額増減前年同月比推移



近畿・港別貨物取扱量（輸入）

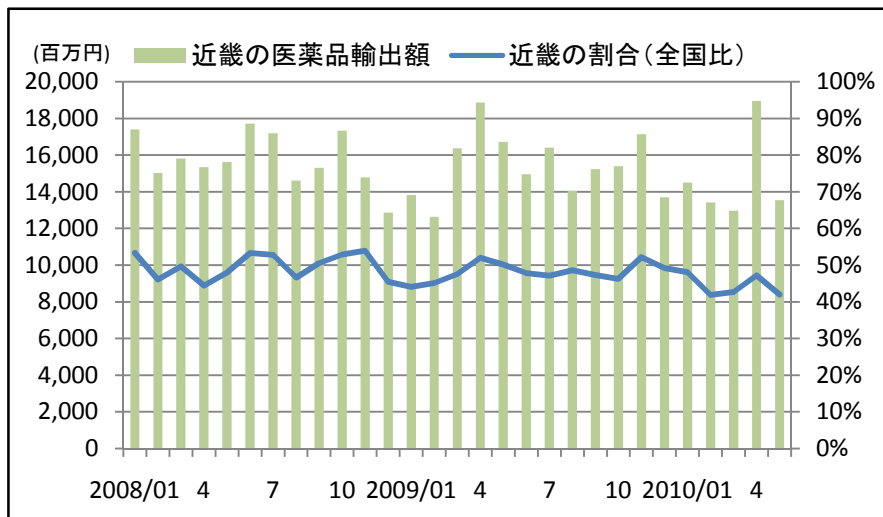


出所：大阪市、神戸市、関西国際空港㈱ 資料

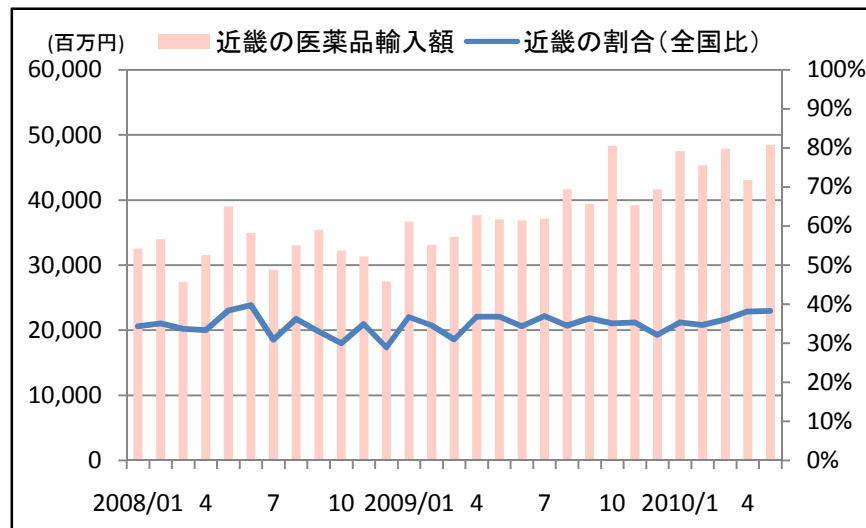
関西経済トピックス ～医薬品の輸出入動向～

○医薬品の輸出入額は、前年同月を上回る月もあり、比較的堅調。

近畿の医薬品輸出額の推移



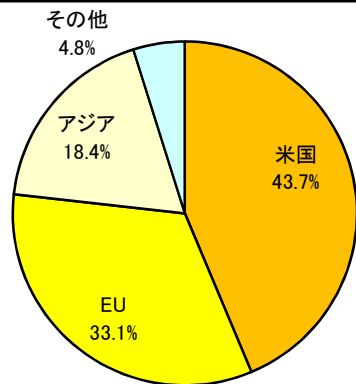
近畿の医薬品輸入額の推移



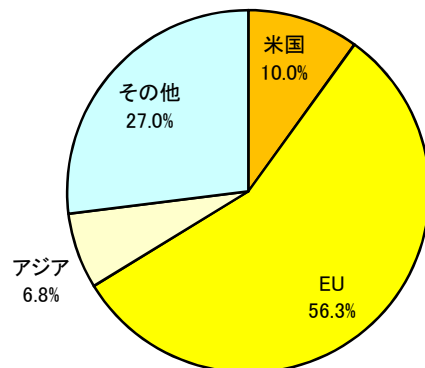
○近畿の医薬品輸出額は堅調な動きを続けている。
 5月の輸出額は135億円、前年同月比▲19.1%と2カ月ぶりのマイナス。
 2009年、年間の輸出額は1,853億円、前年比▲1.9%。
 ○5月の近畿の医薬品輸出額は、全国の42.0%と高い割合を占めている。

○近畿の医薬品輸入額は、引き続き増加基調にある。
 5月の輸入額は431億円、前年同月比+31.0%の増加。
 2009年、年間の輸入額は4,631億円(前年比+19.2%)と、過去最高額。
 ○5月の近畿の医薬品輸入額は、全国の38.3%と高い割合を占めている。

近畿圏の医薬品輸出先 (2009年)



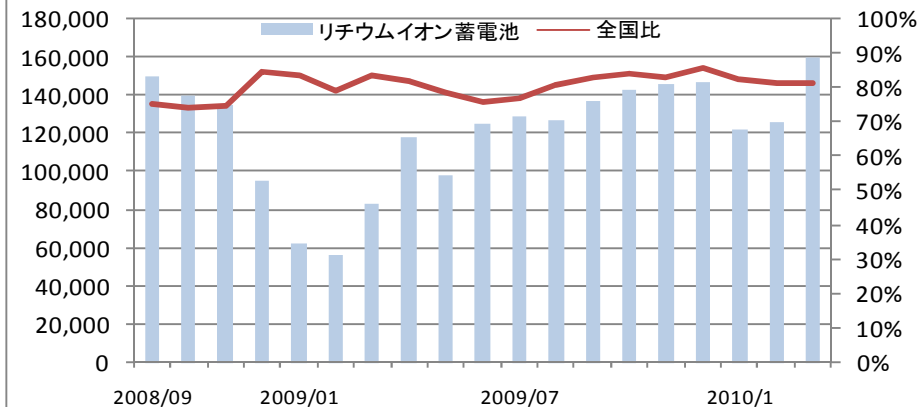
近畿圏の医薬品輸入先 (2009年)



○近畿圏の医薬品は、輸出入とも全国に占める割合は高い。
 ○輸出入先は、欧米の占める割合が高い。
 輸出先は、米国が43.7%、EUが33.1%を占める。
 輸入先は、米国が10.0%、EUが56.3%を占める。

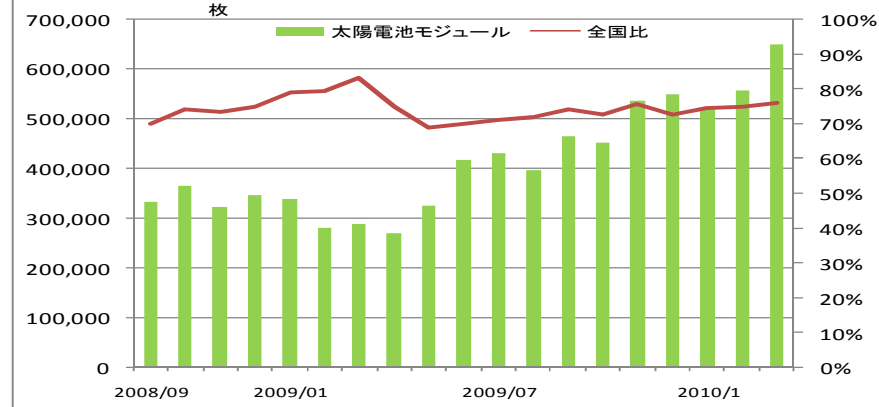
～電池産業の生産拠点集積～

リチウムイオン蓄電池 生産量の推移(近畿)



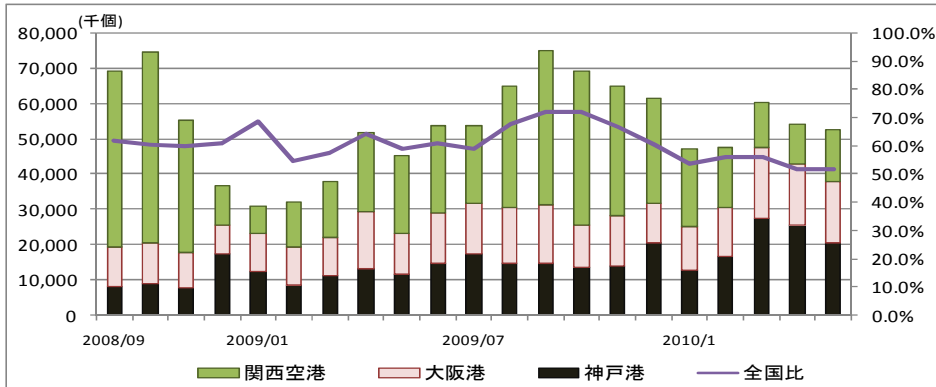
出所：経済産業省、近畿経済産業局 資料

太陽電池モジュール 生産量の推移(近畿)



出所：経済産業省、近畿経済産業局 資料

リチウムイオン電池(蓄電池) 輸出の推移(大阪港、関西空港、神戸港)



出所：財務省、大阪税関 資料

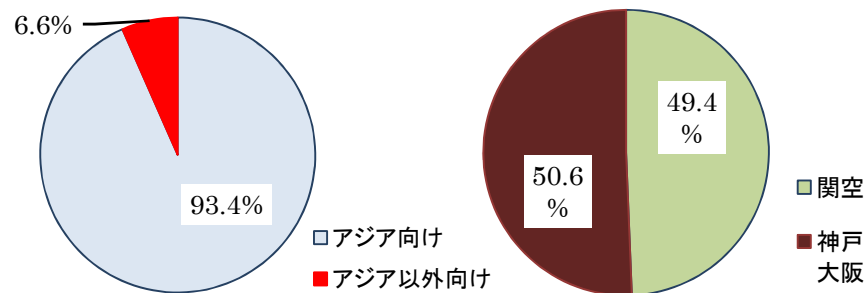
○近畿のリチウムイオン蓄電池の生産は、09年に入り落ち込んだが、足下回復基調が続く。2010年4月の生産量は、前年の反動もあり前年同月比+27.0%と増加。全国に占める割合も高く、4月は、80.4%。

○近畿のリチウムイオン電池の輸出は、09年に入り落ち込んだ後回復。足下は09年9月をピークに減少しているものの、5月は前年同月比+16.8%。全国に占める割合も高く、5月は、51.6%。

○近畿の太陽電池モジュールの生産枚数は、09年に入り、減少したものの、政策の後押しもあり、足下、増加傾向が続く。2010年4月は、634,842枚、前年同月比+136.5%と大幅に増加。

○全国に占める割合が70～80%台と高く、3月は77.7%。

2009年リチウムイオン電池 輸出先(大阪港、関西空港、神戸港) 及び、輸出港

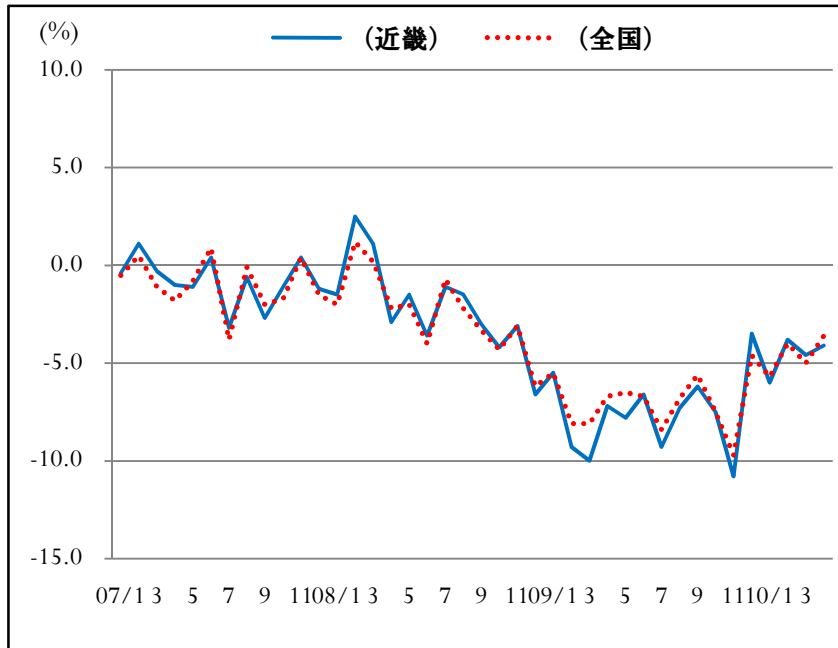


○アジア向け輸出が93.4%を占めた。出所：財務省、大阪税関 資料
中国が56.2%と最も多く、韓国12.1%、香港9.2%と続く。

○輸出港は、大阪+神戸港50.7%、関西空港49.4%とほぼ同じ。

～個人消費～

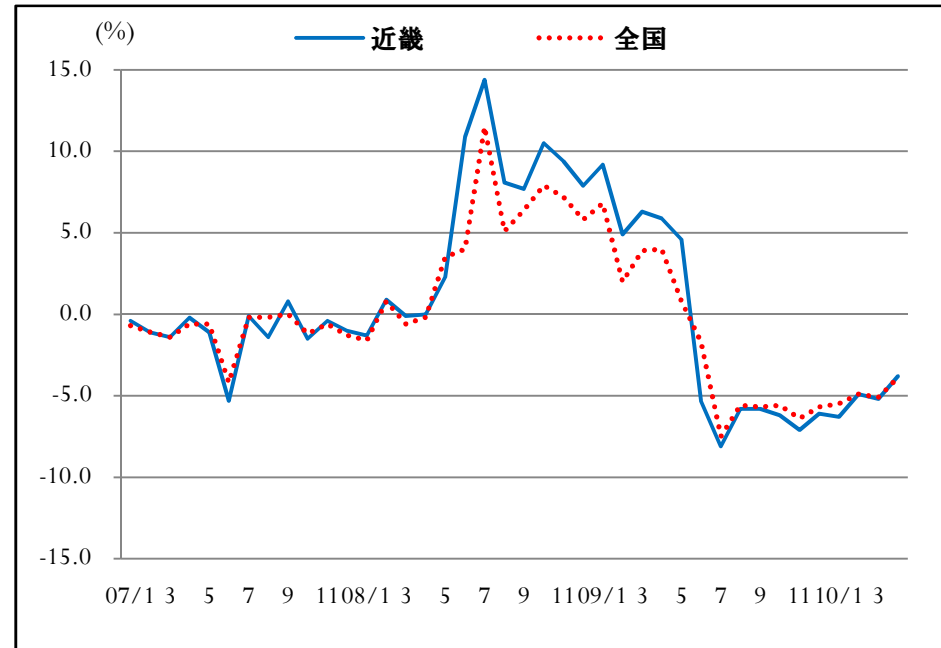
大型小売店売上高（前年同月比・2010年4月まで）



(出所) 近畿経済産業局

- ・ 近畿の4月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(既存店ベース)は、前年同月比▲4.1%と25カ月連続のマイナス。前月(▲4.6%)からマイナス幅は若干縮小。全国は同▲3.6%。
- ・ 雨が多く寒暖の差が激しい天候不順の影響や、生活防衛意識が依然根強いことなどにより厳しい状況。
- ・ 商品別に見ると、百貨店・スーパーとも、薄型テレビ等が好調だった「家庭用電気機械器具」のみ前年を上回った。

コンビニエンスストア販売額（前年同月比・2010年4月まで）

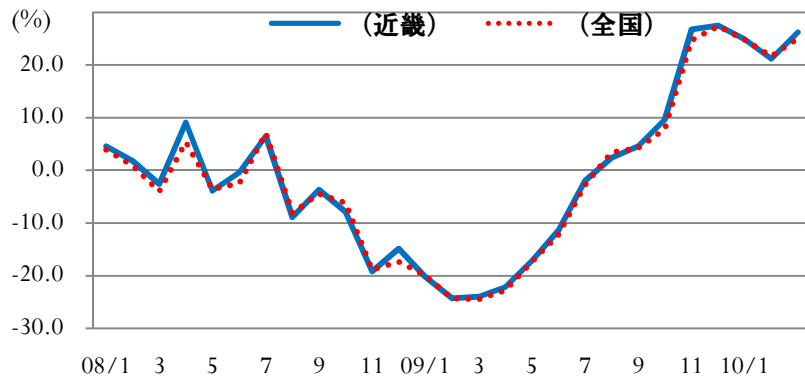


(出所) 近畿経済産業局

- ・ 4月の近畿のコンビニエンスストア販売額(既存店ベース)は、前年同月比▲3.8%と10カ月連続のマイナス。前月(▲5.2%)からマイナス幅が縮小。全国は同▲3.9%と、近畿同様前月(▲5.1%)からマイナス幅が縮小。

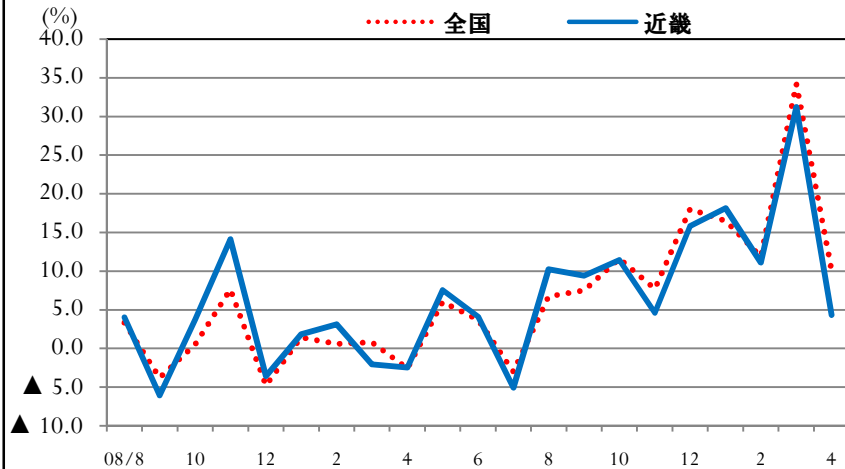
～個人消費～

新車登録台数（前年同月比・2010年4月まで）



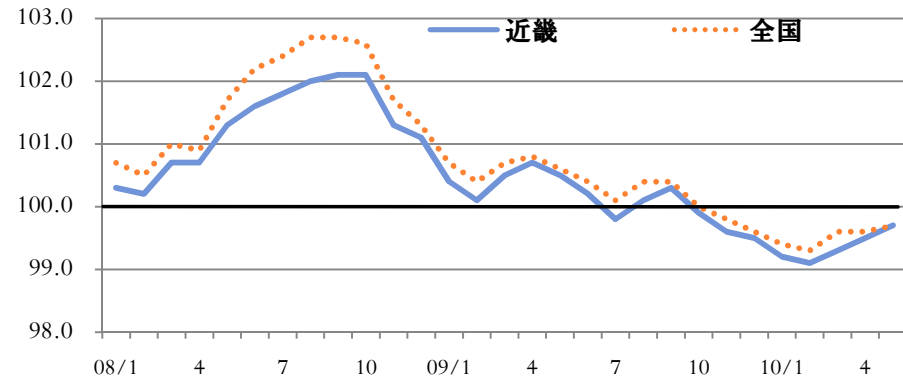
- ・近畿の4月の新車登録台数は、前年同月比+27.8%。
車種別では普通車+66.9%、小型車+17.3%、軽四車+9.2%。
(出所) 近畿経済産業局

家電販売額（前年同月比・2010年4月まで）



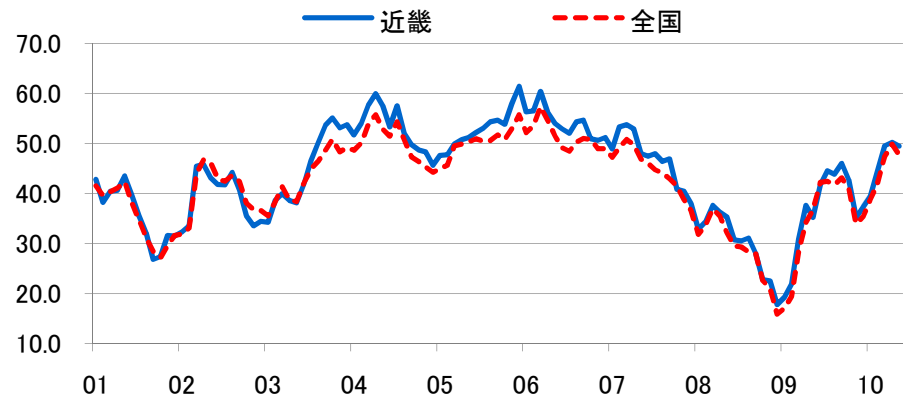
- ・近畿の4月の家電販売額は、前年同月比+4.3%と9カ月連続の前年比プラス。携帯電話(+28.2%)、理美容健康器具(+16.7%)、オーディオ(+12.4%)、掃除機(+10.6)、等で増加。
(出所) 近畿経済産業局

消費者物価指数（総合指数・2010年5月まで）



- ・近畿の5月の消費者物価指数(総合指数)は前月比+0.2%の99.7と、3カ月連続の上昇。前年同月比では▲0.8%の低下。
食料(酒を除く)及びエネルギーを除く総合指数は97.5で、前月比+0.1%、前年同月比▲1.3%
(出所) 総務省

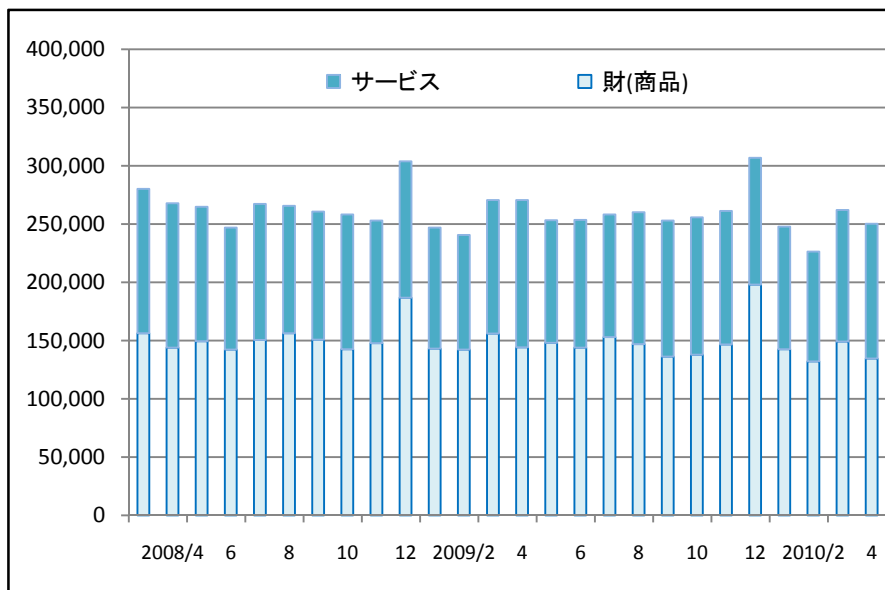
景気ウォッチャー調査(現状判断DI・方向性 2010年5月まで)



- ・5月の近畿の現状判断DIは49.4で、前月比▲0.8ポイント、6カ月ぶりに低下。全国は前月比▲2.1ポイントの47.7。
・低温・大雨の影響による客数の減少、季節商品の販売不振のほか、薄型テレビの駆け込み需要の反動で家電販売が鈍化していること等により、低下した。
・近畿の先行き判断DIは50.2、前月比▲0.7ポイント。
(出所) 内閣府

【参考—個人消費 家計調査から】

財・サービス区分別支出の推移(近畿)



出所:総務省家計調査

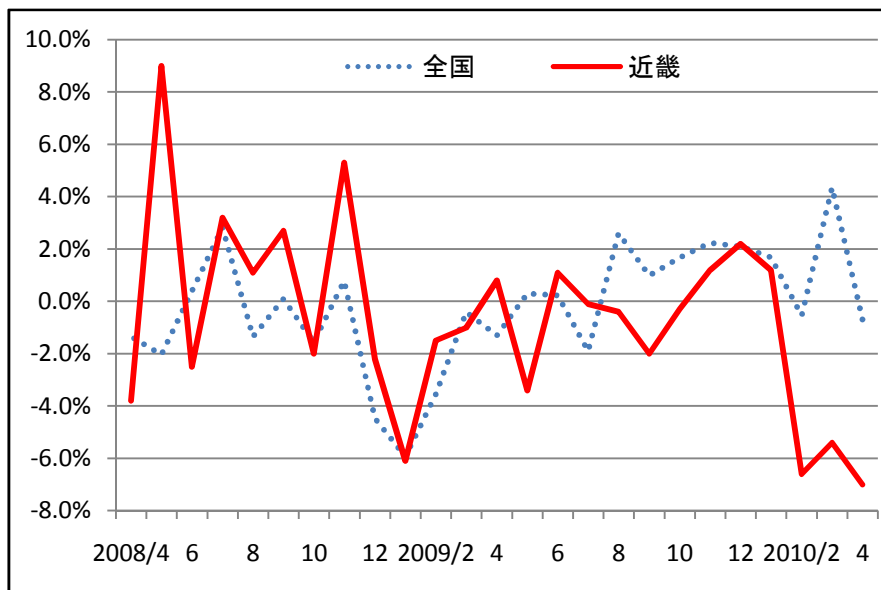
○家計調査によると、近畿の2010年4月の財・サービス区分別支出は、250,401円。前年同月比(名目)▲7.5%。前月(同▲3.2%)からマイナス幅は拡大した。

○内訳は、財(商品)が134,562円、対前年同月比▲6.7%、サービスが115,840円、▲8.4%。財、サービスとも、対前年同月比マイナスであり、前月からマイナス幅は拡大。

財の内訳は、耐久消費財12,583円、半耐久消費財21,067円、非耐久消費財100,911円。

○なお、全国の2010年4月の財・サービス区分別支出は260,088円。前年同月比+3.2%とプラス。財(商品)が139,961円、サービスは、120,127円。

消費支出 対前年同月実質増減率の推移(全国・近畿)



出所:総務省家計調査

○近畿の2010年4月の消費支出の、対前年同月実質増減率は▲7.0%、3ヶ連続のマイナス。前月(同▲5.4%)からマイナス幅は拡大。

内訳は、保健医療+15.9%、家具・家事用品+11.1%、等がプラス。マイナスだったのは、教育▲23.4%、住居▲20.8%等。

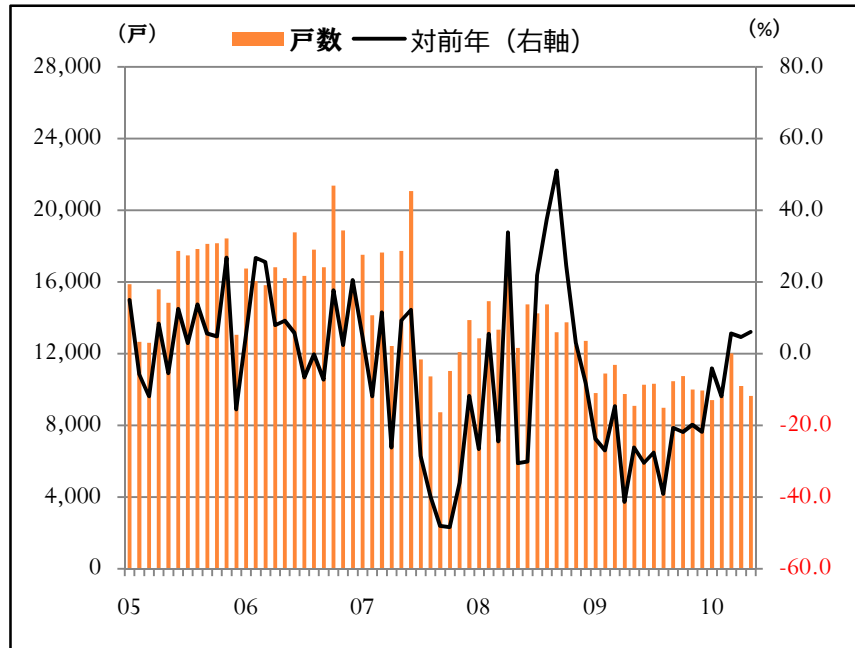
○全国は、▲0.7%で、2か月ぶりのマイナス。

内訳は、住居+12.0%、保健医療+10.6%等がプラス。マイナスだったのは、被服及び履物▲14.6%、教育▲13.7%等。

* 近畿の対前年同月実質増減率比は、総務省資料に基づき当会にて計算。

～住宅投資～

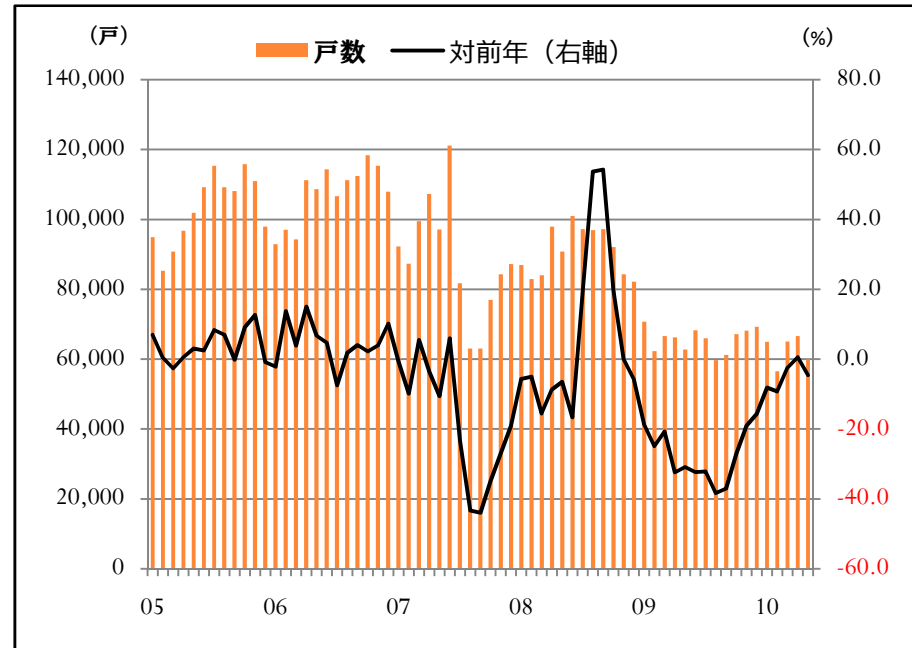
新規住宅着工戸数（近畿・2010年5月まで）



(出所) 国土交通省資料

- ・ 5月の近畿の新設住宅着工件数は9,650戸、前年同月比+6.1%。3カ月連続のプラス。
- ・ 利用関係別の5月の対前年同月比を見ると、持家が+6.2%、貸家+19.1%、分譲▲6.9%。分譲のうち、マンションが▲39.4%、一戸建て住宅が+14.2%。
持家が8カ月連続、一戸建てが5カ月連続でそれぞれ増加。
貸家は08年12月以来、17カ月ぶりにプラスに転じた。
マンションは3カ月ぶりのマイナス。

新規住宅着工戸数（全国・2010年5月まで）

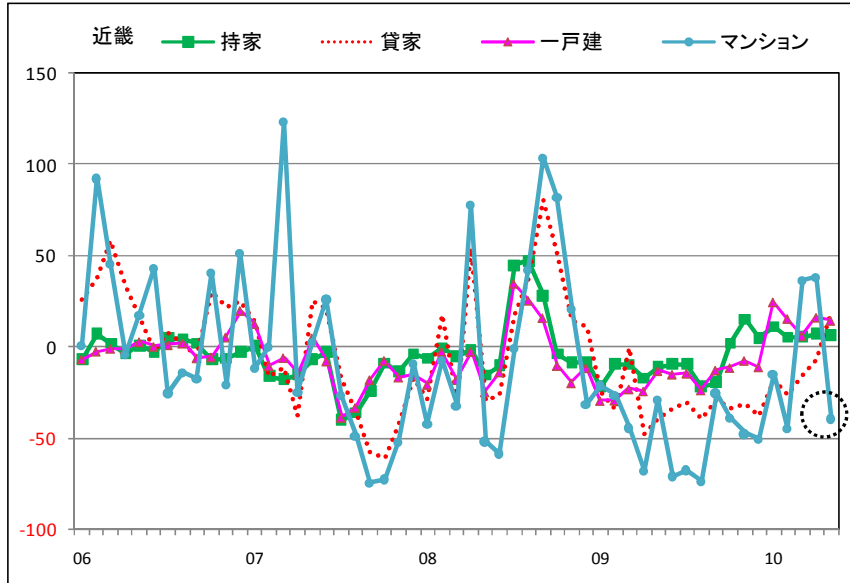


(出所) 国土交通省資料

- ・ 5月の全国の新設住宅着工件数は59,911戸、前年同月比▲4.6%と2カ月ぶりのマイナス。
- ・ 利用関係別に見ると、持家+4.8%、貸家▲13.5%、分譲+0.8%。分譲のうち、マンションが▲31.5%、一戸建て住宅が+30.0%。
持家が7カ月連続、一戸建てが5カ月連続でそれぞれ増加。
マンションは前月、15カ月ぶりにプラスに転じたが、5月は2カ月ぶりのマイナス。

住宅投資～近畿圏のマンション動向～

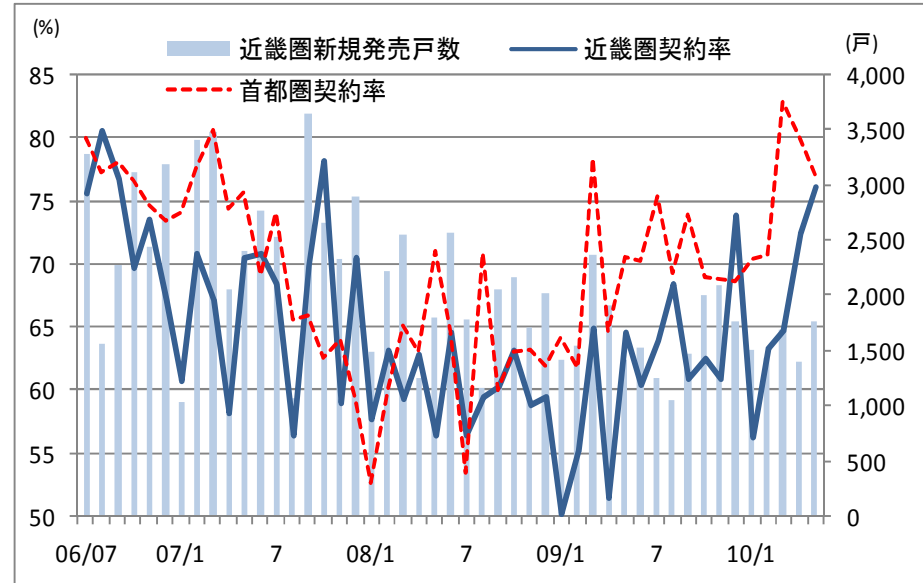
利用関係別 新規住宅着工戸数 前年同月比(近畿・2010年5月まで)



出所:国土交通省

- ・持家は、06年度は4,000戸前後で推移していたが、07年7月頃から2,500戸前後に減少。一旦持ち直したものの08年後半から再び2,000戸台に減少。足下は、政策の効果もあり、8カ月連続で前年同月比プラス、水準は低いですが、持ち直しの動きが見られる。
- ・分譲のうち一戸建ては、足下、5ヶ月連続でプラス。政策の効果もあり、水準は低いですが、持ち直しの動きが見られる。
- ・分譲のうち、マンションの新規着工戸数は09年6-8月の3ヶ月間、1,000戸を割り、大きく落ち込んだが、11月以降、1,000戸台で推移。10年3月には、08年4月以来23カ月ぶりに3000戸を上回り、持ち直していたものの、足下5月の新規着工戸数は742戸。
- ・先行きは、住宅版エコポイント、贈与税措置等、大規模な経済対策の効果期待される。

マンション契約率及び新規発売戸数(2010年5月まで)

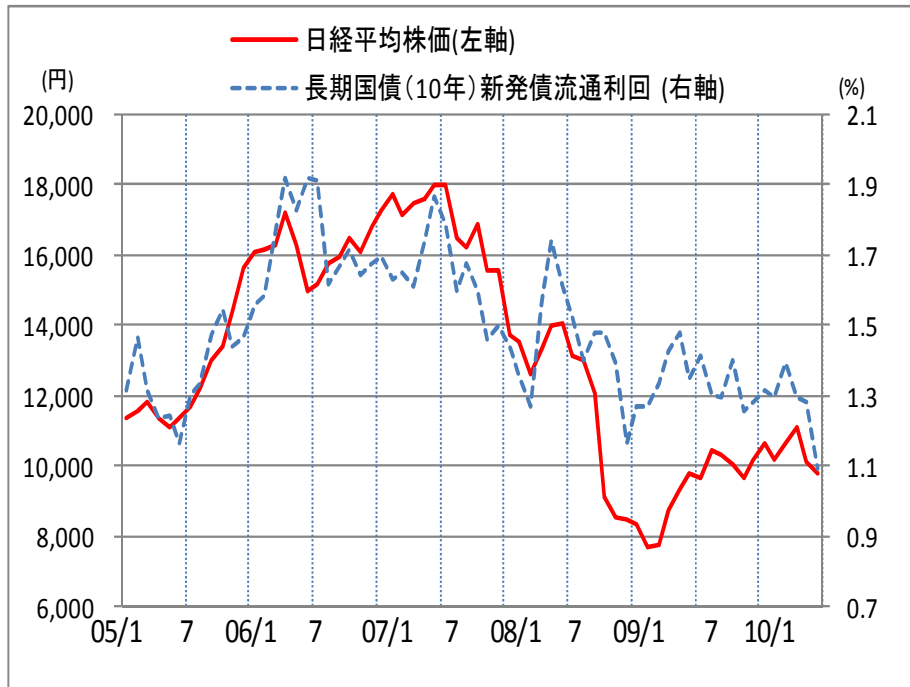


出所:不動産経済研究所資料

- ・近畿のマンション契約率は、09年に入り大きく落ち込み、50%台が続いたが、10年5月の契約率は76.0%。前年同月比+21.0、前月比+7.7と上昇。2カ月連続で、好不調の目安とされる70%を上回った。
- ・販売在庫は高水準ではあるものの、減少傾向が続く。5月末の在庫は4,232戸、前月末比347戸の減少。
- ・一方、首都圏は、価格が下がっていること、人口の流入が続いていることもあり、近畿と比べると契約率は高い傾向にある。

～株式・長期金利～

日経平均株価(期中平均)・長期国債新発債流通利回(月末)
(2010年5月まで)

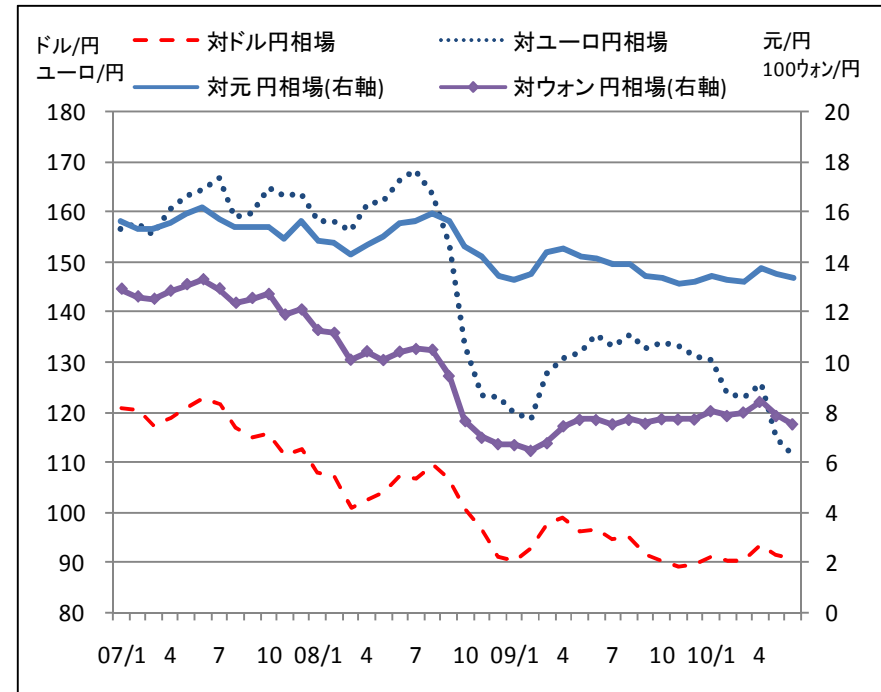


(出所) 日本経済新聞社

- ・6月の日経平均株価(期中平均)は9786.05円で、5月より317.93円の低下。
- ・6月末の長期国債(10年)新発債流通利回りは、年率1.095%、5月末から0.189%低下。
2003年8月以来、約7年ぶりとなる水準に低下。

～為替相場～

為替相場の動き(期中平均値・2010年6月まで)

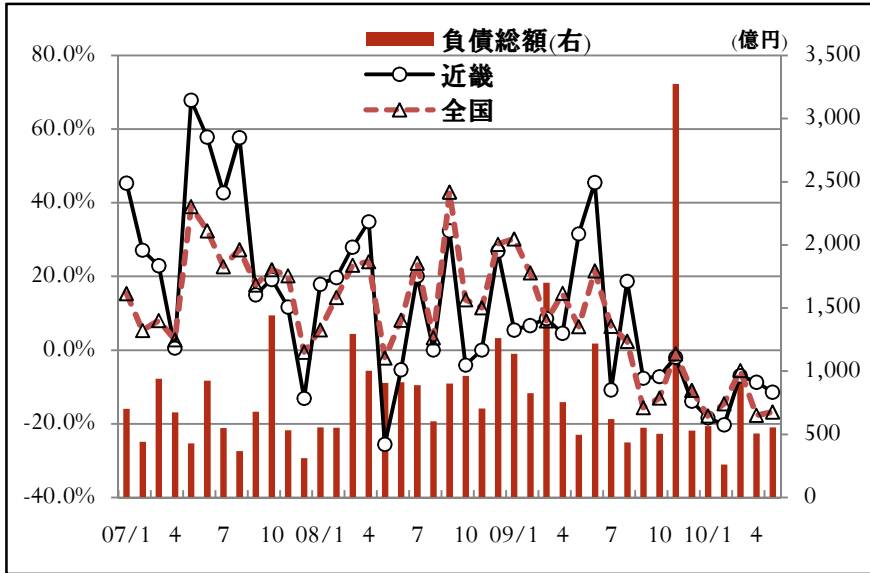


(出所) 日本経済新聞社、三菱UFJリサーチ&コンサルティング

- ・6月の対ドル円相場(期中平均)は90.92円で、5月より0.77円の円高。
- ・対ユーロ円相場は111.01円で、5月より3.36円の円高。
- ・対元円相場は13.32円で、5月より0.13円の円高。
- ・対ウォン円相場(100ウォンにつき円)は7.5円で、5月より0.33円の円高。

～倒産～

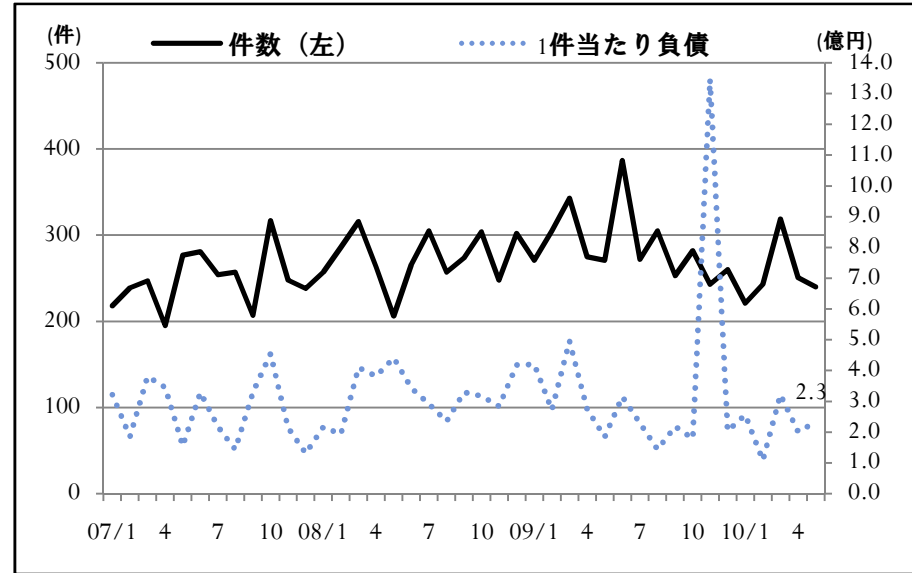
倒産件数前年同月比・負債総額の推移（10年5月まで）



(出所) 帝国データバンク

- ・ 2010年5月の近畿の倒産件数は240件。
- ・ 近畿の負債総額は556億円
(前年同月比+11.6%、前月比+9.5%)。
- ・ 全国の倒産件数は879件(前年同月比▲16.8%)。
全国の負債総額は、3045億円(前年同月比 ▲40.5%)。

近畿の倒産件数と1件当たり負債額の推移



(出所) 帝国データバンク

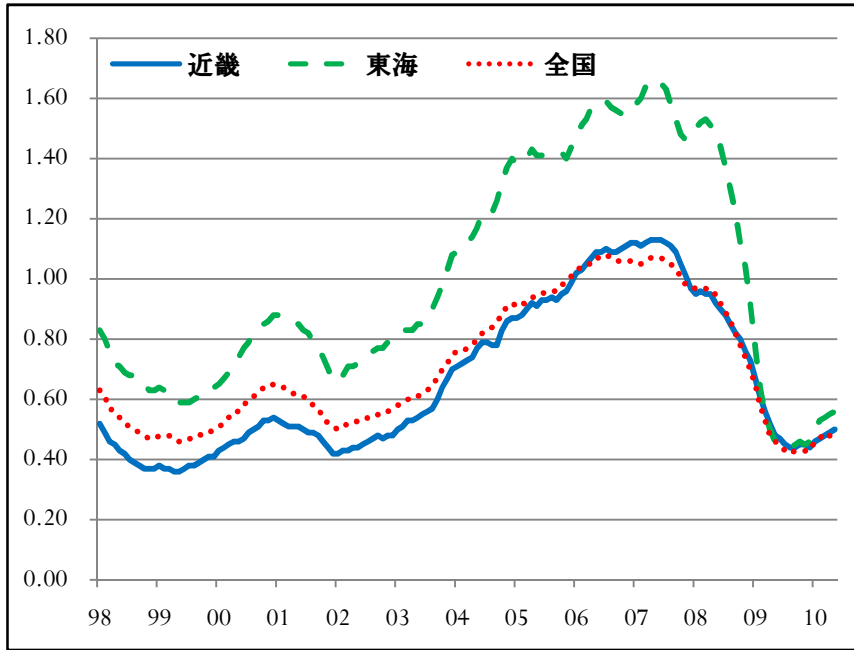
- ・ 5月の近畿の倒産件数は、前年同月比▲4.4%と、9カ月連続で前年同月を下回る。
- ・ 負債総額は6カ月ぶりに前年同月を上回る。
- ・ 1件当たり負債額は2億3100万円。

2010年5月以降の近畿の大型倒産

				(負債総額・億円)
5月	(株)エービー産業	大阪	元・木造建築工事	234
	大豆油糧(株)	兵庫	大豆専門商社	51
	(株)大石	兵庫	建築資材販売	34
	富士エステートコーポレーション	大阪	不動産販売	20

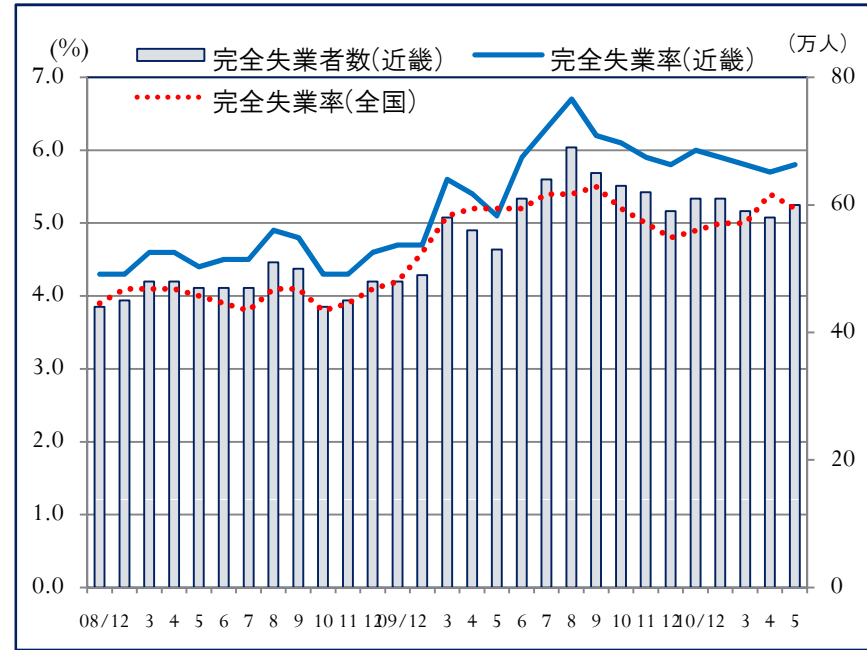
～雇用～

有効求人倍率の推移（季節調整値・2010年5月まで）



(出所) 厚生労働省統計

完全失業率の推移（原数値・2010年5月まで）



(出所) 総務省統計

地域別有効求人倍率（2010年5月：下段は前月比）

全国	北海道	東北	南関東	北関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
0.50	0.39	0.40	0.50	0.55	0.58	0.56	0.50	0.61	0.60	0.44
0.02	0.02	0.01	0.00	0.04	0.02	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01

- 2010年5月の近畿の有効求人倍率は、前月から0.01ポイント上昇の0.50倍。5カ月連続の上昇。
63年以降の最低値は99年4～5月の0.36倍。
- 全国は0.50倍で、前月から0.02ポイント上昇。
地域別に見ると、南関東と中国で横ばい、その他の地域は上昇。

- 2010年5月の近畿の完全失業率(原数値)は5.8%で、前月(5.7%)から0.1ポイント上昇。4カ月ぶりの悪化。
- 全国の完全失業率(原数値)は5.2%、前月(5.4%)から0.2ポイント改善。
男性は5.5%、女性は4.7%と、前月と同率。15～24歳は10.3%と、1年前に比べ1.3ポイント上昇。
- 全国5月の季節調整値は5.2%、前月(5.1%)から悪化。
- 83年以降、失業率の最悪の値(原数値)は、近畿7.1%(02年7～9月期)、全国5.5%(02年4～6月期、03年1～3月期、4～6月期)。